



市民のひろば

今月号から新コーナー「香美史探訪記」と「ほっと」を始めます。「ほっと」は今回は裏表紙に掲載となっています。お見逃しなく！

掲示板

◆かがみの育成園花展示即売会のお知らせ

私たちが育てた花を多数展示します。皆さまのご来園をお待ちしております。
なお、当日「花・野菜・苗」の販売もいたします。
【日時】4月4日（土）・5日（日）・12日（日）
9時～16時
【場所】かがみの育成園グラウンド
【問い合わせ先】担当 徳橋
090-17781-3244

ただいま留学中²³ ダン・タイジャン （ベトナムハノイ）

香美市の皆さん、こんにちは。私は高知工科大学博士1年で物理を勉強しています。今日は故郷ハノイを紹介します。ハノイはベトナム北部の紅川デルタにある「千年の古都」です。2010年に「ハノイ建都千年祭」を祝います。ベトナム語で「ハ」は

川、「ノイ」は内という意味です。漢字にすれば「川内」でしょうか。その川を行き交う船が人や物を運び、長い間、政治、経済、文化の中心の役割を果たしてきました。王朝は変わっても王宮はずっとハノイに置かれ、国の重要な決定がなされた所です。現在でも政府の主要機関があります。経済活動も活発で、近県から農産物や手工芸品が運び込まれ、取引され、故郷ハノイから国内外に出て行きます。

フォーとは？
中華料理の平打ちライスヌードルの類。カップ麺のフォーが売り出されたりしている。



の「フォー」レストランがあります。一店一店独特の材料と味です。家でもそれぞれ、家庭の味の「フォー」を作り、また好きな味のいきつけの店にも食べに行きます。皆さん、一度ハノイを訪ねてみませんか。



作：山崎菜紀・宗石真奈
（山田高校マンガ部）

香美史探訪記

第1回 子安地藏石仏 香北町西峯河口

香北町美良布の町の北、物部川の暁美橋北詰に石造丸彫地藏4体があり、川を見守っています。
左上段のお地藏さん 文政5年（1822年） 日野御子村中が建立
左下段のお地藏さん 大正10年（1921年）日ノ御子中が建立
この2体は、川渡し安全と、川の木材流しや平舵舟での河川交通の安全を願って建立されたものです。河口は物部川と日ノ御子川の合流点で、昭和初期鉄道や道路などの交通網が整備されるまでは、河口―松尾越―東豊永の豊永往還が利用されていました。嶺北物産や生活必需品が搬入され、日ノ御子は中継地になって、神母ノ木・高知市や上流の大柵への舟便もありました。往時の隆盛は、日ノ御子三谷家住宅の赤レンガ倉庫に見ることができます。

右端 嘉永4年（1851年）山下佐平妻寅が建立
右から2番目 安政2年（1855年）山下佐平妻寅が建立
右端の地藏は、宝塔を左手にした坐像で、碑文には先祖追善に建てたとあります。右から2番目は、優しい女性の母性愛が表現された坐像で、膝に幼児を抱えています。このお地藏さんには、次のような話が伝えられています。



子安地藏 右台座碑文には「それ地藏尊は、亡祖累代考妣（ちちはは）夫兄の霊をたびたび顧みて、ねんごろに追善する」ということが書かれています。左台座碑文には「そもそも子安地藏尊は、おおくの婦安産にして父町人繁栄、運壽長久、如意、満足快樂、施主 山下佐平妻寅奉造立百拜 安政2乙卯歳（1855）6月吉日」ということが書かれています。

ある年の大川上美良布神社の秋祭りの日、日ノ御子村の幼い子どもが、父親に「お祭りに連れて行って」とせがみました。父親は「もう1回、山から木を担いで来てから、連れて行ってやろう」と約束し、木材を担いで帰って来ましたが、子どもは喜んで走り寄り、父親が木材を投げ落とすと運悪く子どもに当たり、子どもは死んでしまいました。母親の悲しみは深く、可愛い子どもの冥福を祈り、世の総ての子どもの安泰と、女性の安産を願ってこの「子安地藏」を造ったと言う話です。（香美史談会）

今般、市広報委員会からの勧めもあり、「市史談会の活動を知っていただくことと、市民の皆さんに市の史跡を紹介したい」との思いから取り組みを始めます。楽しみにしていただけるよう研鑽に努めますのでご愛読いただけたら幸いです。
香美史談会会長 上村 敬介

市の人口	
平成21年3月1日現在（）内は先月比	
総人口	28,650人（-37人）
男	13,374人（-14人）
女	15,276人（-23人）
世帯数	12,665世帯（+2世帯）
2月中	出生 8人
の届出	死亡 37人

編集後記

取材で行くいろいろなイベントで良く耳にするのが、「崖の上のポニョ」のテーマソング。成人式や舟入フェスタ2008でも演奏されていました。最近ばかりはおなかポニョになってきて困ります。
ポニョ
ポニョ
ポニョ
おなか出た
おなかの上のポニョには気をつけていかねば
飲み過ぎ
食べ過ぎに
ポニョ注意！
（細木）